

第6次所沢市総合計画特別委員会会議記録（概要）

平成30年10月22日（月）

開 会 （午後1時32分）

【議 事】

○議案第80号「第6次所沢市総合計画基本構想及び前期基本計画の策定
について」

大石委員長

議案第80号に対して、各会派から意見が提出されているので、各委員
からご説明をしていただくようお願いいたします。

傍聴人に資料を配付し、回収することによろしいか。

（委員了承）

桑島委員

質疑の中で言ったので委員のほうにはご承知いただいていると思うが、
改めて説明する。まず、4ページ、（1）将来都市像「みんなで考えた」
というところは削除。この理由は、みんなで考えたという根拠が乏しいこ
とと、みんなの定義がはっきりしない。これは削除してよいと思う。続い
て、「善きふるさと」の善という字は、善悪の価値判断は行政になじまな
いので、ひらがなの「よき」までが許容範囲で、これをひらがなにする。
それから「泥んこになって」という部分は、これも価値観の押しつけで、
泥んこになって遊ぶ状況にない子どもへの配慮に欠けるということで、こ

れも削除。続いて、6、7ページ、「子どもを大切にすまち」という表現は実は5次の後期でもあったらしいが、よく考えると総合計画というのは大人も子どももみんなが主語なので、子どもが大切にされるまちというふうな表現にかえないと、いかにも大人だけの計画になってしまう。続いて、12、13ページ、「私たちは」とあるが、これも非常に断定的なので、「多くの人々が、」に変更したい。実は27ページには同じような表現を「多くの人々が」とあるので、この2カ所をかえたほうがよい。「認識していく必要があります」は必要性が高まっていますにかえたほうがよい。これも表現が断定的なのでかえたほうがよい。同様に16ページ、「善きふるさと」はやめたい。ひらがなの「よき」でよいのではないか。18ページも同様に子どもが大切にされるまちにかえる。そして、30ページ、市民活動支援センターの利用者数という事業目標があるが、これは意味がないので削除。それから32ページ、やはり引きこもりの問題というのは非常に大きいので、自立相談や引きこもり等の支援と入れたほうがよい。一応執行部も引きこもりの問題の重要性は、委員会の中でも確認できたので。53ページについては同様に子どもが大切にされるまちとする。続いて、65ページ、「校舎内装木質化」を削除して、校舎内装木質化も大事ですけど、なんといってもトイレと空調の整備だから、もう一段、などは残してもいいが、そのなどの中に校舎内装木質化を入れればよいので。66ページ、事業目標2-5-4「学校給食センターの再整備」も削除。それから、2-5-4はここだけ事業目標が4つあるので、特に「体

カテストにおける上位ランクの児童の割合（小学生）」というのは、中学校の体力テストというのはある程度体もできてきて、よいと思いますので中学校で出しておけば大体よいと思うので、小学校は削除しよう。それから109ページ、5-5-2で、「感じないよう、」「外国籍児童生徒に対する日本語教育」というのを、これは5次で入れてもらったのに途中でまた消されたので、また復活させる。115ページの課題に、「自然環境との共生」とありますが、これは自然との調和というふうにしても差し支えないのではないかとということで、この共生という言葉はふさわしくないのでは、調和ということでよいのではないかと。以上が至誠自民クラブの、この辺は修正したほうがいいのではという、特に今回の特別委員会の議論の中で出てきたものを中心に提案をさせていただきました。

谷口委員

結論から言うと相当絞らせていただいた。会派未来として、追加提案ということで3点である。1点目が48ページ、基本方針の1-7-2の文中の「防犯対策充実」の後ろに、さらに、特殊詐欺に的確に対処するため、最新の実態を把握し、先進的な取り組みで成果を上げている他自治体を参考にしながら、適宜未然防止に向けて対応します、と追加してはどうか。この提案理由は特殊詐欺はたちごっこの様相を呈しており、もっと積極的にフットワークよく、市も警察と連携して、もっと力を入れて取り組むべきではないか。所沢もかなり狙われている地域ですので、被害を最小限にするために他の自治体の先進的な取り組みを情報収集しながら未然防

止対策を強調して明記すべきと考えた。2点目、51ページ、交通安全の部分。基本方針1-8-4として項目を追加して、「高齢者の運転事故の防止。高齢者が運転する自動車事故を未然防止する為、埼玉県警と連携しながら、現状にて有効な施策を検討し実施します。」と追加してどうか。理由としては、高齢者のブレーキとアクセルの踏み間違えの事故は大きな問題で、この前も東所沢のスーパーとか武蔵野線に落ちたものとか、ブレーキとアクセルの踏み間違えではないかと言われているが、完全自動運転が普及するまでは相当程度の時間が必要で、今後超高齢社会なので、こういった事故のリスクが増大する可能性が高いと考える。よって既に車に後づけでのアクセル・ブレーキ踏み間違え防止機器が存在し、私も一般質問で取り上げたが、機器メーカーからは試乗もできるとのことなので、このような方法を含めて、もっと真剣にハード面での対策に乗り出すべきと考えた。3点目、73ページの自殺防止対策で3-2-4の後ろの部分に、「また若い世代の自殺防止の為、実態を把握しながら、他自治体の取り組み等を参考に、若い世代特有の傾向に即した防止対策を行います。」と追加してもよいのではないか。理由は足立区では、区内にいる人が、死にたい、孤独などの生きづらさに関する単語をインターネットで検索すると、相談窓口が表示され、そのままメール等で相談員につながる事業をことしの4月から行っている。半年ぐらいたつが、一定の効果、実際に支援事業につながったケースもあるということで、足立区では評価されている。このように自殺防止対策に、ネット検索を有効に活用している先進的な事例

城下委員

を参考にしながらさらなる対策を行う方針を盛り込んでもよいと考える。

4ページ、将来都市像の「共有するため、」の次に「平和都市宣言、市民憲章に則り」と加筆する。将来都市像に込めた思いの文中の「ホテル舞い、カブトムシのいる里山で、子どもたちは「絆」を感じながらたくましく泥んこになって遊ぶまち。」は削除。5ページ、「善きふるさと」を漢字の善きではなく、ひらがなのよきふるさとにする。「伝えるべきことをきちんと伝え、」を「子どもの人権を最優先に捉え」にかえる。「早く大人になりたいな」を「自らの意思で社会に参画できるまち」にかえる。(2)土地利用構想については、「公共の福祉」を質疑でも聞いたが、「住民の福祉」にかえる。「持続可能な街づくりを進めます。」を「食糧自給率の向上のために農地の保全と活用を第一義的に位置づけます。」にかえる。「土地利用を進めることで、環境との共生に配慮し、」を削除。「計画的に都市基盤の整備改善を進め、」を「空き家、空き店舗の利活用をまちづくりの核にして」にかえる。「集積や土地区画整理事業を活用した市街地整備などにより、」を「集積などで」にかえる。④土地利用の転換については削除。7ページ、「従来の手法にとらわれない行政改革」を「公的責任を明確にした行政改革」にかえる。12ページ、「私たちは改めて、」を「改めて」にかえる。「私たちは自然の中で」を「自然の中で」として、「私たちは」を削除する。「必要があります。」を「指摘されています。」にかえる。13ページ、「民間活力の導入や」を「公共の担う役割を自覚

しながら」にかえる。17ページ、「中心とした体制を整える」を「中心としながらも小学校区ごとのコミュニティの拠点づくりを整える」にかえる。27ページ、「求められています。」の後に、「しかし、そのことは公的役割の一層の充実を図ることを弱めることではありません。」と加筆。

29ページ、「まちづくりセンターの役割やあり方を検討し、機能の充実を図ります。」を「まちづくりセンターの役割の中心は小学校区ごとの地域コミュニティの拠点づくりに重点を置きます。」にかえる。45ページ、1-6-1、「防災対策の強化を行います。」の後に「その際、どの分野においても行政の役割分担を明確にします。」を加筆する。1-6-1、「構築を進めます。」の後に、「とりわけ高齢者や障害者などの要支援者については、普段からの実施訓練などを重ねておくことが重要です。」を加筆する。1-6-4、「また、武力攻撃事態等及び緊急対処事態発生時には、国・県などの関係機関と連携しながら対応を行います。」を削除する。子どもの貧困対策を第2章 子どもを大切にすまちに位置づけていた。59ページ、2-3-2、「保育の待機状況等を踏まえ、」の後に「認可園の増設とともに」を加筆。2-3-3、「放課後児童クラブの施設整備や」を「放課後児童クラブの待機児解消と大規模施設解消のために施設整備や」にかえる。60ページ、2-3-2「就学前児童の保育施設の利用者数」を「潜在的待機児童数の見込み数と施設整備数」にかえる。2-3-3「放課後児童クラブの利用者数」を「放課後児童クラブの利用見込み数と施設整備数」にかえる。65ページ、2-5-5、「ト

トイレ改修や空調設備の整備」を「トイレ改修と空調設備の初年度夏までの整備」にかえる。92ページ、4-3-3、「適正なごみ処理を進めます。」の次に、「西部クリーンセンターの廃炉の検討を進めます。」を加筆する。事業目標4-3-3、「不法投棄物量」を「総ごみ量に対する埋め立て率」にかえる。4-3-4として、「長期包括運營業務の毎年チェック、長期間に関わることから業務委託に関する第三者機関によるモニタリングの実施とチェック体制を講じる。」を追加。98ページ、5-1-1と5-1-2を削除。109ページ、5-5-2、「充実を図ります。」の次に、「また帰国子女の支援に取り組みます。」を加筆。111ページ、第6節「文化芸術・伝統文化」を「文化芸術・歴史伝統」にかえる。112ページ、5-6-3、「施設の整備に向けて検討します。」を「施設の整備に向けて取り組みます。」にかえる。116ページ、基本方針6-1-1は削除。141ページ、7-2-1、「無作為抽出による公募」を「意欲ある市民を公募する。」にかえる。136ページ、第7章は残ったものを全部ここに入れているという印象もあって、もう少しきちんと整理していくべきではないか。

石原委員

本文についての加筆修正というのは現時点では考えていなくて、付帯決議を付したい部分ということで考えている。81ページ、スポーツ部局を教育委員会から市長部局への移管の検討の必要性。88ページ、小手指ヶ原公園の計画のことも考えたほうがいいだろう。長らく決定はしていた

が、手つかずのところなので、これは総合計画で検討する必要がある。103ページ、公共空間の民間活力の検討はこれからどんどん必要なことであると思う。114ページの課題の部分で市内各所で高齢化の進むニュータウン地区に特化したまちづくりを市役所では専門的に取り扱う部分がないので、こういったところは総合計画できちんと課題把握をしていくようだと思った。119ページ、6-2-3、所沢駅西口のまちづくりに対応して、新所沢駅や小手指駅といった中核となるような駅も共存共栄を図るということで、まちづくりを検討していくべきだ。所沢駅西口の広域商業施設のオープンの時までに渋滞対策、交通安全対策の必要性を感じている。125ページ、6-4-1、漠然と「新たな交通手段を検討し、」とあるが、モノレールとデマンド交通を検討する。後期の基本計画が出てくるときに、議案の提案を9月定例会にしていいただきたい。

赤川委員

今回コンサルを入れないで、職員がやったことは評価をするが、中身があまりに稚拙であり、情緒的表現もあり、行政的に正しくないようなことの切りがない。細かい指摘は一切しないが会派で一致したもの、まずは将来都市像、「善きふるさと」を漢字ではなくひらがな、もし一致しないのであれば、ふるさとところざわ、善きをそのままとってしまう。あまりにも情緒的な表現である。5ページの「子どもたちが「早く大人になりたいな」と思える、そんな大人がいるまち。」を削除。あまりにも情緒的すぎるので。事業目標がアウトカム、アウトプットになっていないものが多い

が、その中で33ページ、「こどもと福祉の未来館利用者数（地域福祉センター利用者数）」を地域福祉の指標にしているのは、どう考えても関係ないものなので削除。代替案としてはケースワーカーの各地域での相談件数を入れると工夫していただきたい。56ページ、「課題の中に子どもの貧困には複雑な要因があり、それを改善するためには庁内横断的な取り組みはもとより、関係機関との密接な連携が必要です。」と加筆する。子どもの貧困という言葉在市としては入れたくないというのは明確だが、実際に子どもの貧困という言葉はそれに関する法律もあるし、行政用語として県でも国でも自然に使っている。これを認めない限りは今後難しいだろうということで、これを追加する。はっきりと子どもの貧困という言葉を入れるために、57ページ、基本方針2-2-2「児童虐待の未然防止」の前に、「子どもの貧困対策」という言葉をはっきり入れる。65ページ、2-5-5、校舎内装木質化、質疑を通じて、やるかやらないかもわからないし、やる可能性はゼロなのかと聞いたときに、そのことについて部長は一切答弁しなかったので、やるかやらないか方針もはっきりしないものを入れることは適当ではないので、「校舎内装木質化」は削除。

福原委員

全体を通して基本計画で、評価指標の設定について現状値以上とか100%をキープという設定があるが、そういうことよりは毎年度上昇もしくは下降していく、そうした過程があって市民にわかりやすい指標、期間が終わった後に評価するに当たって、客観的に評価しやすいような指標にし

てもよいのではないか。事業目標について、評価指標と同様に根拠がわかりづらいものが多いので、市民にわかりやすくしたほうがよい。例えて言えば、道路に関して延長距離が長めに全体をくくって、数字だけで評価されているが、そうしたものを簡単な図でもいいので、どこにどれくらいの部分でというのが目で見えてわかりやすくするものを添付してもよいのではないかと考えている。空調設備については9月定例会での提案理由の説明でのこともあるので、来年度以降の話になるから、65ページ、2-5-5で空調設備の整備に関して、事業目標を設定してもいいのかなと思っている。基本計画の全体において、設定の根拠の統一がとれていないところが多いので、とれるようにしてほしい。27ページ、1章全体の施策の方向性の中に地域共生社会、もっと具体的に言うと「地域包括ケアシステムの推進」とあるが、これを目指すに当たって、具体的に何をテーマとしてやっていくのかというところで、テーマの一つとして地域共生社会という言葉を追加して、その後「地域包括ケアシステムの推進や防災に対する強靱なまちづくりなどを進めます。」としたほうがよいのではないか。30ページ、1-1-2の民生委員についての指摘は取り止める。36ページ、1-3-1、目標に5が並んでいるが、それよりは参加者数にして上昇させることを目的にしてもよいのではと思っている。39ページについての指摘も取りやめる。42、43ページの1-5-5と1-5-6について、それぞれ最初は目標にすべきと指摘しましたが、事業目標に追加するイメージで考えていただいて、1-5-5については市民の貸

出数、1-5-6については子ども一人当たりの貸出数を追加してもよいのではないか。46ページ、1-6-1、ハザードマップ活用による危機管理・防災に関する出前講座開催の参加者数を追加してもよいのではないか。49ページ、1-7-1、現状値維持となっているので、活動実績数として、上昇あるいは下降というわかりやすい設定にしてもよいのではないか。42ページ、1-8-1、実施回数を地区別参加者数と初め考えたが、参加者数としてはどうか。53ページ、現状と課題で子どもの貧困に関する課題を加えていただきたい。理由は議会でも政策討論会やさまざまな形で、健康福祉常任委員会でも議論して、一つの方向性として子どもの貧困に関する課題があるのではないかと、まずはそれを市として考えるべきではないか。54ページ、子どもの貧困に関連して、具体的な課題の研究といった文言を追加していただきたい。64ページ、全体の課題で、転用可能教室の利活用の方針の協議を推進する旨の文言を加筆していただきたい。65ページ、2-5-3、災害時避難、日頃の地域との連携や放課後児童クラブとの一体事業拡大のために空き教室の利活用に関する方針を協議していく旨を加筆していただきたい。69ページ、課題の中に健康マイレージ事業の費用対効果の検証の必要性を加筆していただきたい。86ページ、4-1-1、「温室効果ガス排出量の削減に向けて、」の後に具体的に公共交通の利用促進などといった形にしてほしい。最初、ノーマイカーデー設置と指摘していたが、これは取り止める。103ページ、課題の中に所沢を外部からイメージできるキャッチコピーの検討をと加

筆してほしい。124ページ、「所沢市地域公共交通網計画策定を検討が必要だ。」と加筆してほしい。125ページ、6-4-1、「ところバスの更なる充実を図るとともに、新たな交通手段を検討し、持続可能な地域公共交通を推進します。」を「ところバスの抜本的な見直しと新たな交通手段の検討を行い、交通弱者を含めた市民が利用しやすく持続可能な地域公共交通を推進するために、所沢市地域公共交通網計画策定に努める。」と加筆していただきたい。125ページ、6-4-2、「西武鉄道及びJR武蔵野線の輸送力充実などについても、関係自治体とも連携しながら、鉄道事業者等に要望します。」の前に「観光入込客数向上と住んでみたい魅力あるまちづくりなどのために」と加えていただきたい。127ページ、評価指標が全て100なので、経営効率化によるコスト削減を指標としてもよいのではないか。

越阪部委員

議論や審議、検討すべきこととして指摘したが、中身についてはあまり指摘していない。将来都市像の中で市民憲章を入れることが一つある。9ページ、②人口目標については出生率のことがはっきりされていない気がする。このことをはっきりさせる。14ページ、(2)前期基本計画の構想、①リーディングプロジェクトはいろいろなかわりということで書いてあると思うが、特に実践の場である11行政区のつながりがよくわからないと思うので、このことについてかわりの中で入れられればよいのかなと思う。15ページ、(4)計画の進め方の中で、総合的に年度ご

との総括、評価する人はだれなのか、そうしたことをはっきりさせる。年間で四半期ごとぐらいに総括をする人や責任者をはっきり決めないと、PDCAサイクルのチェックの仕方をしっかりしていないといけないのではないか。これらの部分で議論されるとよい。

大石委員長

各委員の意見をいただいたので、今後は項目ごとに議論ができればよいと思う。進め方について委員会として合意形成できるところ、合意形成のために努力していくところを見出して、そうした部分があれば修正となる。もう一つ、修正まではしなくても、付帯決議をするという合意形成ができればよいかなど。どうしても合意形成ができないところは、各委員の判断で各会派の修正案が出されると思う。

福原委員

各委員と意見交換をするため自由討議を行いたい。

大石委員長

自由討議をすることでよろしいか。

(委員了承)

【自由討議】

桑島委員

大幅な加筆という場合には、たぶんパブリックコメントをとらなければならないと思う。かえるのは構わないが、議会としても、そうしてかえたというふうにやらないとバランスが悪いのではという気がする。日程的に

大幅加筆となってしまうと、1月になってしまう。3月に修正案可決となると思う。できれば完全に追加というよりも、今ある文章を工夫する範囲にしておけばセーフだが、項目の追加というのはきついと思う、いいことだとは思いますが。その辺はどう考えているのか。

大石委員長

参考までに5次総の時の修正は、全会一致になった部分が16カ所程度あった。一番多かったのは表の削除だったと思う。文言の追加、修正もあった。

桑島委員

項目の追加はあったか。

大石委員長

なかった。

桑島委員

あまりいじると、今度こちらにも責任が発生するので、財源の裏づけがないので、議会は、どうするのかという議論はしっかりしないとまずいのではないか。

赤川委員

加筆部分も委員会で全会一致で決まったとなれば、それは議論して、財源にかかわるものなのかとか、その時にまた検討すればよい。

桑島委員

地方自治法の改正で総合計画も再議項目となった。再議のかけ合いにな

ると、結構大変だ。なんせ選挙があるので、意外と以前と比べて状況が厳しい。再議をかけられた時に、どういうかけ方になるのかもまた協議なのだが、意外と大変だなと思う。私はそうしたことは全然嫌いではないが。その可能性も考えておいたほうがよい。

子どもの貧困に関しては、皆さん、やったほうが良いということなので、これは追加ではなくて加筆で検討されたらよいのではないかという印象を持った。

休 憩（午後2時28分）

再 開（午後2時42分）

大石委員長

皆さんから各会派のご意見を聞いて、議論を先に進めたほうがよい部分をご提案してほしい。

荒川委員

議会として注目されているのが、空調設備の設置時期だと思う。国は来年夏までに補助金制度をつくって、やろうと言っているわけだから。だから、これしかない、議会でやれるのは。基本計画の初年度夏までに整備するということを入れる。来年度予算に間に合わない。何としても今年度中に、補正の中で債務負担行為になるかどうかはわからないけれども。速やかにやらないと間に合わない。

桑島委員

初年度夏ではなく、いち早くだと思う。初年度までとすると他とのバランスがあるので、文言の。いち早いとかなら、まだわかるけれども。総合計画はそのものに拘束力があるわけではない。あくまでも目標値設定なので、初年度というのもわからなくもないが、やはりいち早いとか、迅速なくらいではないか。

石原委員

エアコンについては11月下旬の報告書は見なくてもよいのか。

桑島委員

それを見てから、これについては議論しないか。

大石委員長

報告後に議論することよろしいか。

(委員了承)

桑島委員

子どもの貧困については、議会でも政策討論会をやったことだし、皆さんのよい意見が出ているので、今日中にまとめられれば、まとめたほうがよい。反対という人がいれば言ってもらって、どういうところが反対なのか聞きたい。

大石委員長

子どもの貧困について議論したいと思う。

城下委員

委員会としてやって、最終的に提言を出している。どういう位置づけに

するか、それぞれ皆さんが考えをお持ちだと思うので出し合って、盛り込んでいきたい。

赤川委員

課題があるということを入れなければならない。課題の中に子どもの貧困ということを入れてはいかがか。課題があって、今後検討するという意味においては基本方針に入れる必要があり、2-2-2が一番ふさわしいと思う。

谷口委員

リベラル所沢の案をベースにして、反対がなければ、それで形づくるのが一番シンプルだと思う。

福原委員

おおむね同じ意見だが、市がどういう考えかというのも確認する必要があると思うが、対策とすると、これありきでというイメージも強い気がする。それについての協議をすとか、検討をすとか、対策をすぐにしろという感じを総合計画に入れ込んでいいのかどうかと感ずるところがある。第2節 子ども福祉でということであったが、これは子ども支援ではなくて子ども福祉でよいのか。第1節、第2節、第3節と子どもの貧困はいろいろなことにかかわる大きな議論という気がする。そうすると53ページの施策の方向性の中に子どもの貧困に関する協議、取り組みのよな文言を入れておけばよいのかなと感ずる。

石原委員

子どもの貧困はとても深刻な問題だと受け止めているし、これからの10年間でもっと深刻化していく問題だと認識している。現状と課題（配慮すべき社会情勢）に入れていただいてもいいし、施策の方向性として明記してもよいと思う。

桑島委員

現状と課題（配慮すべき社会情勢）の中に子どもの貧困に関する課題に関する課題を入れたほうがよいと思う。なぜかと言うと、青少年も子どもの貧困にかかわってくるので。そして第1節の課題として入れて、それに加えて57ページ、2-2-2、「児童虐待の未然防止」の前に「子どもの貧困、」と入れる。この3つでよいのではないかな。

大石委員長

57ページ、2-2-2の「児童虐待の未然防止」の前に「子どもの貧困、」と入れる。53ページ「核家族化の進行」の後に「、子どもの貧困の深刻化」と入れる。そのようにする方向でよろしいかな。

（委員了承）

桑島委員

54ページ、「利用者の声を踏まえながら、」を「利用者の声を踏まえ、」とし、その後に「子どもの貧困に関する実態把握をしながら」と入れる。

大石委員長

そのようにする方向でよろしいかな。

（委員了承）

- 桑島委員 関連で「子どもを大切にする」を「子どもが大切にされる」について、このことは執行部にも話したら、そうですねと言っていた。
- 大石委員長 「子どもを大切にする」を「子どもが大切にされる」に修正する方向でよろしいか。
- (委員了承)
- 桑島委員 校舎内装木質化については、視察と中間報告の後で議論したいが、争点として取り上げていただきたい。否定はしないが、ここまで格上げする必要はない。
- 谷口委員 エアコン関係を集中的にやる場合には、財政的にも校舎内装木質化は先送り、後期にしてもよいのではと考える。
- 城下委員 まだ効果も検証されていない。校舎内装木質化については削除したい。
- 石原委員 エアコン、トイレに準ずる金額の規模を考えると、明記していくことも責任の一つかなと思う。
- 桑島委員 なぜ市長が校舎内装木質化を言ってきたかという、東京都杉並区が山

田前区長の時にエアコンなんか要らないんだと言って、同じような論陣を張っている時に校舎内装木質化と緑のカーテンをやっていて、そこから校舎内装木質化というのはクローズアップされてきたのではないかということなので、杉並区の状況を見て、また判断できればと思う。

67ページ、第5節の事業目標の体力テストは2つは要らないと思うので、小学校は削除してはどうか。小学生はまだ体もできていないし、中学校で見ればよいと思う。本当は2つとも削除したいところだが、少なくとも中学校で見ておけばよいのではないか。2-5-4だけ多い。中学校でモニタリングできるし、義務教育において、とりあえず中学校というのは小学校の積み上げであるから、中学校がよいということは、当然小学校もある程度よいわけだから、小学校で見て、中学校で見るよりも中学校でいいのではないかというのが一つ。二つ目は小学校というのは、まだ体ができ上がらない。ある程度大人の体ができつつある中学生のところで見ないと、小学校で負荷をかけるということも無理があるし、中学校で見ておけばよいのではないか。重複している。

大石委員長

67ページ、体力テストにおける上位ランクの児童の割合（小学校）の表は削除する方向でよろしいか。

（委員了承）

城下委員

67ページ、2-5-6、電子黒板を質疑して、現場からという話だっ

たが、現場はもっと違うもの、学校の備品とかの要求ももっと出ているので、ここに位置づけていく必要はないかと思っている。お金がないと言って、エアコンとか他にやることがあるので、いかがか。

桑島委員

2-5-6の項目がなくなってしまう。私もこれはどうでもいいと思うが。電磁波は理由にできない。

城下委員

電磁波だけではない。学校の環境整備で他にもっと先にやるべきことがある。

大石委員長

67ページ、市内小中学校における電子黒板の導入割合の表を削除することは委員全員では一致できないということによろしいか。

(委員了承)

桑島委員

109ページ、5-5-2に関して、これは5次の時につけ加えてもらったものをいつの間にか消されているということなので、「不便を感じないよう、」の後に「外国籍児童生徒に対する日本語教育、」と加筆したい。所沢市は人口34万人と言っているが、そのうち5,000人は外国人だ。外国人を除いたら34万人ではない。それだけ多くの子どもたちが、親に伴って来ているわけだし、現場レベルでも結構大変なことを抱えているから、せつかく5次で入れて、解消したのなら消すのは構わないが、全全体

制整備もしてもらっていない。子どもたちが疎外感を持ってしまうと地域の中で問題行動を起こしやすくなる。なるべくしっかりと日本語を学習する機会を整えるということが、疎外感をなくすのにすごく重要だと思うので、帰国子女への支援というのも結構だと思う。

城下委員

外国人の子どもたちもふえている、保育園とか小中学校含めて。現場はそういった子どもたちに、対応してあげたくても教員の多忙化もあって対応できていない現状がある。ここは上手にできたらよいと思う。体制整備がとれていない。

桑島委員

我が国は移民をふやそうと言っている、安倍政権で、自公連立で。これこそちゃんと入れていかないと。ちゃんと体制整備していく必要があると思う。共産党所沢市議団のものもよい表現なので、また、外国人児童生徒に対する日本語教育などの支援に取り組みますと入れたほうが、できれば文の中で工夫したほうがよいと思ったが、それでもよい。帰国子女は教育のところではないか、日本人だから。

城下委員

5次総の前期に入っていたというのは外国人に関してか。

桑島委員

そのとおり。わざわざ修正して入れてもらった。そうしたら後期でいつの間にか消してしまった。気づかないうちに消されていた。

城下委員

それでは、会派から提案したものは教育のほうで。

桑島委員

5次総の修正の時に、ちょうど地元の向陽中学校において中国語しかしゃべれない生徒がやって来て、大変だったことがあった。これに限らず結構、野ざらしらしい。英語とかは支援があるが、中国語とかはまったく支援がなくて、孤立しているということだった。すごく重要なので入れてほしい。ちなみに5次総の該当部分を読み上げてもらいたい。

大石委員長

第5次総合計画の修正案は外国籍児童生徒という文言を入れている。ちなみにこれは、国際性を育む環境づくりを推進しますというタイトルのもとに、また、帰国児童生徒や外国籍児童生徒が、と入っている。

109ページ、5-5-2、「不便を感じないように、」の後に「外国籍児童生徒に対する日本語教育、」と加筆する方向でよろしいか。

(委員了承)

城下委員

109ページ、5-5-3に帰国児童生徒への支援を入れたいが、皆さんに知恵を貸してほしい。

桑島委員

「生活習慣や文化の違いなどをわかり合うための交流・学びの場を設けます。帰国児童生徒への支援を充実させます。」としてはいかがか。

大石委員長

そのように加筆する方向でよろしいか。

(委員了承)

福原委員

36 ページ、1-3-1、目標が開催数で、5回でずっと並んでいる。出前講座に参加した人数とすれば上昇させるということがあらわれるのではないか。

桑島委員

そうすると参加人数も設定しなければならない。

福原委員

根拠となるところをどう設定するかという問題がある。49 ページ、1-7-1、現状値以上を活動実績数にするとしたが、実際どのくらいの数があるのかを確認する必要がある。

桑島委員

今までは町内会・町内会への加入率としていたものを、30 ページ、加入促進活動を行った回数にかえている。これはひどい、確かにインプットにかえたということはわかるが。

石原委員

これは何なのかよくわからない。1回とは何を指しているのか。

城下委員

入ったかどうかは別にして、何人に声をかけたかということか。

石原委員

入りませんかと声をかけたのが1回ということか。

大石委員長

参考までに事業目標とかの指標はパブリックコメントをとっていない。
市民委員とかにもかかっていない。ここはかえても市民参加をないがしろ
にすることはない。

桑島委員

5次総の時の目標は加入率か。

大石委員長

そのとおり。

桑島委員

条例までつくってやっているのだから、現状値維持でいいと思う。質疑
をしたが明確な答弁がなかった。目標値は下がってもよい。人口は減るし、
高齢化は進むのだから下がっていくのは当たり前のこと。

大石委員長

このことについては市民部に質疑してから検討することよろしいか。

(委員了承)

福原委員の提案の46ページ、1-6-1の表の追加についてはいかが
か。

桑島委員

追加は難しいと思う。

大石委員長

難しいとのことだが、いかがか。

福原委員

承知した。

城下委員

49ページ、1-7-1も目標が現状値以上となっていることを質疑してはいかがか。

大石委員長

このことについては危機管理課に質疑することよろしいか。

(委員了承)

一般質問の中で市立幼稚園を廃園するとあったが、総合計画の中でまったく議論されていなかったが、その点について議論する必要はないか。

桑島委員

幼稚園はどこに書いてあるか。

大石委員長

幼稚園が廃園するなんて書いていない。それくらいここにはないと何のための総合計画なのか。

桑島委員

見ると市立幼稚園は廃止する方向というのがわかる。何も書いていないのだから。ないというのは意思表示だ。市民憲章について意見が出ていて、私も賛成だ。苦勞してつくったらしい市民憲章をちゃんと入れるくらいは

問題ないと思う。共産党所沢市議団が平和都市宣言を入りたいのなら、平和にはだれも反対しない。

越阪部委員

4ページ、将来都市像の中に市民憲章について入れるべきだ。

桑島委員

市民文化の特色や市民憲章、第5次所沢市総合計画の進捗状況などを踏まえて、とすればよいのではないか。

城下委員

市民文化の特色や市民憲章や平和都市宣言、第5次所沢市総合計画の進捗状況などを踏まえて、としてはいかがか。

大石委員長

市民文化の特色の次に「市民憲章や平和都市宣言」を加筆する方向でよろしいか。

(委員了承)

【自由討議終了】

10月30日に杉並区を視察し、11月7日に委員会を開催し、議論の続きもするが、そのほかに市民部、危機管理課、経営企画部、教育委員会の出席を求め、質疑することによろしいか。

(委員了承)

散 会 (午後3時48分)

